

生産者と消費者の
政治経済学

日本の 食料問題を 考える

検証 現代日本経済

伊藤元重 伊藤研究室

序章	消費者の視点から見る食料問題……………	3
1	難問山積み 食料問題	3
	政策的破綻をさらけ出した食料問題／生産者＝農業という視点ではなく、消費者＝食料という視点で／常識を疑って考えよう	
2	岐路に立つ日本の農業	9
	上り続ける海外依存度／展望の見えない日本の農業／見直しの時期にきている公的農業支援策／転機に立つ伝統的な農業支援組織	
3	変貌を遂げる食生活	18
	増える外食・中食／外食ビジネスの展開／世界が狙う日本の食卓	
4	日本の食料は大丈夫か	23
	運搬的に起きる食の安全性に関するトランプ／なぜ食品安全庁が必要なのか／食料の安全保障とは／貿易自由化のなかで揺れる日本の農業／求められる輸入制限政策の転換	
5	各論の構成	32

NTT出版

第一部 行きづまる食料政策

第1章 誰がための農業予算——補助金と公共事業……………39

- 1 農業は赤子産業——農業維持の社会的コスト 39
- 2 農業予算の実態——補助金と公共事業 43
- 農業政策の中心となる公共事業／何のための公共事業か／受益者負担が著しく低い土地改良事業／農水省は補助金分配機関／農家が望まない公共事業
- 3 補助事業偏重の仕組み——補助金のもたらす弊害 59
- コスト意識を失わせる補助事業／コラム1／自治体間の補助金獲得競争／自治体の財政支出が補助事業に大きく偏る／コラム2／強引な目的外使用があとをたたない補助事業／コラム3／自治体の倒産をいとめる補助事業
- 4 補助金・公共事業をめぐる票と利権——政治家と利益団体 72
- 公共事業にからむ利益団体／補助金の流れを逆流する農家の支持票／コラム4／土建業者の強力な選挙営業力／公共事業がつなぐ政治家の網／政治に翻弄される自治体財政／公金による利権政治
- 5 おわりに 85
- 補論1 日本の農業予算 87
- 農業予算の姿／公共事業中心の生産対策／本来必要とされる農業構造改善事業
- 補論2 農業補助金 92
- 一件当たりが零細で件数が多い農業補助金／予算補助の割合が大きい農業補助金／設立年次が古く見直しが少ない補助金／交付経路が複雑な農業補助金／補助金を流すために失われる多額の補助金

第2章 農業を弱体化させた農業政策——農地法と食管法……………103

- 1 戦後の農業政策と日本農業の現状 105
 - 基本法農政／日本農業の現状
 - 2 農地制度と土地税制 111
 - 農地法の問題点／農地転用と土地税制／その後の政策と展望
 - 3 農業の経営形態 116
 - 地域農政の展開と問題点／株式会社化への規制緩和／株式会社化のメリットとデメリット
 - 4 食管法 121
 - 政府統制下の米／過剰問題と生産調整／自主流通米価格形成機構の成立
 - 5 市場原理導入と所得安定化対策 125
 - これまでの価格政策の問題点と市場原理の導入／所得安定化政策
 - 6 おわりに 129
- ## 第3章 農業交渉は何を旨とするのか——ウルグアイ・ラウンドと日本……………133
- 1 自由貿易の理念と現実 134
 - 自由貿易とGATT・WTO／農産物貿易の歪み／農業交渉を阻むもの／農業政策と農業交渉の関係
 - 2 農業交渉の本質 139
 - 利害対立の正体／交渉の交渉と経済の論理／交渉のポイント／なぜ関税化か／生産量への影響